

令和6年（2024年）度

活動記録



高野口町青少年健全育成会

令和6年度、高野口町青少年健全育成会は、地域の青少年の健全な育成を目指し、様々な活動を展開しました。令和6年度内に実施した主要な活動とその成果について報告いたします。

活動目的

1 基本方針

次の時代を担う青少年が、心身ともに健全に育つことは、社会全体の願いであります。

しかし、現在の青少年を取り巻く環境や状況は、多様化する生活様式や科学技術の進歩による、通信機器やインターネットがもたらす問題、また、有害情報の氾濫、青少年犯罪の低年齢化や凶悪化、少年少女を狙った犯罪など、社会問題となっている事案は少なくありません。

そのような中、私たち大人ができるることを通じて、青少年との交流等を図り、「地域の子どもは地域で守り育てる。」という意識を高め、健全な成長を支援していくということが大事なことであると考えます。

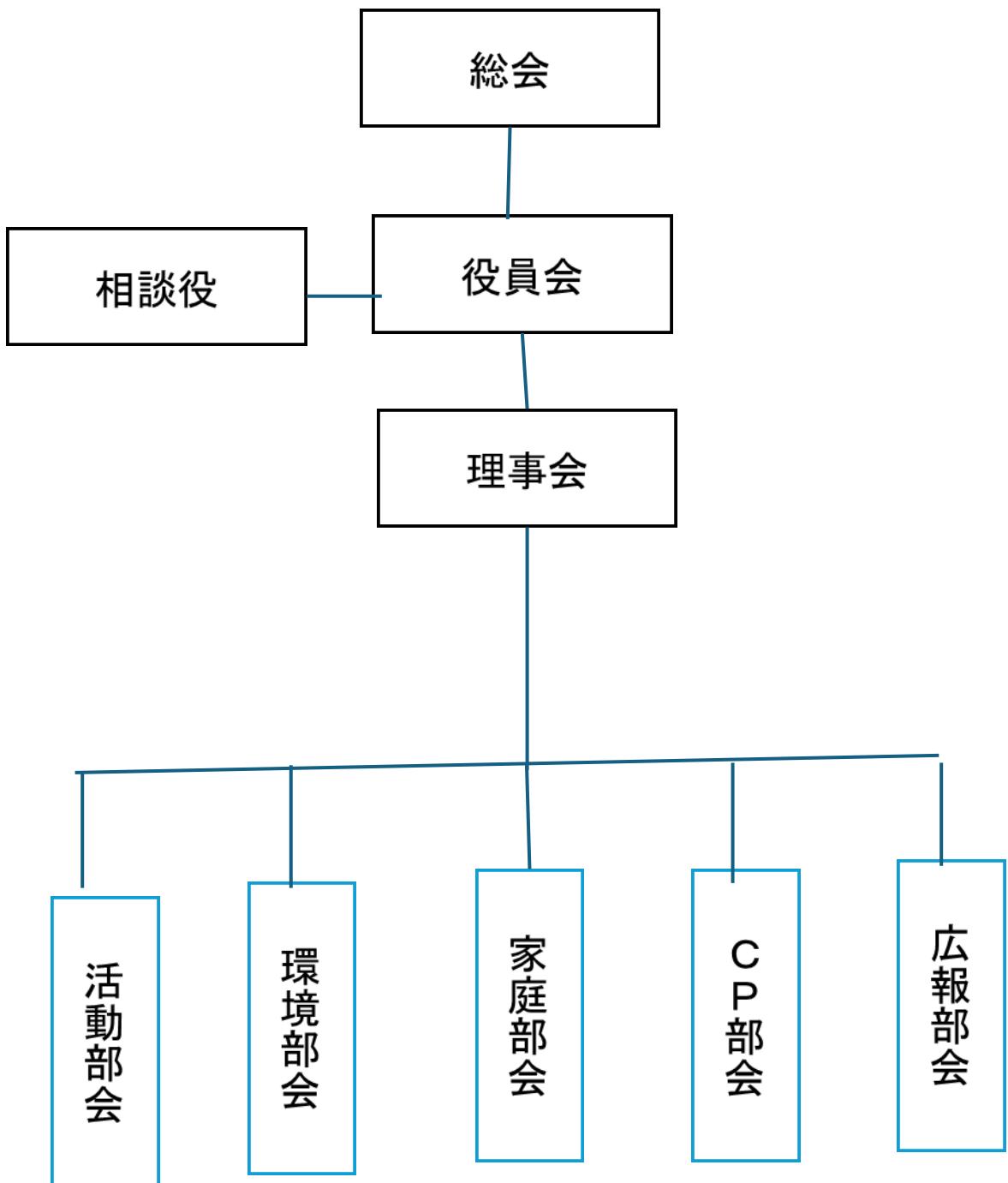
高野口町青少年健全育成会は、関係機関、関係団体との連携のもと、青少年の社会参加活動や体験活動、防犯活動やふれ合い活動、地域や家庭の教育力を高めるための取り組み等に努め、青少年の健全な成長の一翼を担うということを目的としています。

このための重点目標として、
次の8項目を掲げて取り組んでいきます。

2 重点目標

- (1) 青少年健全育成会5部会の組織強化に努める。
- (2) 非行防止や生活環境の浄化推進に努める。
- (3) 世代間交流や体験活動の場の提供に努める。
- (4) こども見守り活動の推進に努める。
- (5) 家庭や地域の教育力向上に努める。
- (6) 広報活動の充実に努める。
- (7) 橋本市こどもスマホ宣言に添った取り組みに努める。
- (8) 健全育成会への加入促進に努める。

3 高野口町青少年健全育成会組織



令和6年度 高野口町青少年健全育成会総会次第

日 時 令和6年 6月 7日(金) 19:00~

場 所 橋本市産業文化会館 2階会議室

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 議長選出
- 5 議事
 - (1) 令和5年度事業報告について
 - (2) 令和5年度収支決算報告及び会計監査報告について
 - (3) 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - (4) 令和6年度の部会名簿等について
 - (5) その他
- 6 議長解任
- 7 連絡事項
- 8 閉会挨拶（副会長）

上記の議事については、すべて承認されました。

令和5年度 高野口町青少年健全育成会 相談役・役員・理事 (敬称略)

相 談 役	辻 本 勉
-------	-------

氏 名	
会 長	赤 井 正 憲
副 会 長	井 上 百合子
副 会 長	大 和 久 健 二
副 会 長	北 浦 健 司
事 務 局 長	前 田 泰 久
事 務 局 次 長	井 本 正 和
会 計	神 原 秀 代
監 事	寺 尾 恵 二
監 事	加 藤 儀 夫

			部 会 長	山 本 健
広 報 部	部 会 長	野 田 幹 也	環境 部	榎 洋 史
		花 岡 敦 美		福 永 徹 男
	理 事	北 川 嘉 昭		諏 訪 義 輝
活 動 部 会	部 会 長	井 上 百合子		中 西 実
		森 和 子		松 岡 街 子
	理 事	保 田 幸 司		岡 本 安 弘
	〃	酒 井 孝 之		柏 木 善 光
	〃	杉 谷 勝 彦		木 村 讓 治
	〃	石 井 栄 津 子	C P 部	大 和 久 健 二
	〃	辻 脇 昌 義		滝 口 清 美
	〃	北 本 一 美		竹 本 光 志
家 庭 部	部 会 長	北 浦 健 司		松 尾 猪 和 夫
		森 田 素 代		吉 田 和 弘
	理 事	滝 口 幸 子		藤 形 征 悟
	〃	中 野 亜 希 子		
	〃	米 坂 公 男		

部 会 長	北 浦 健 司
	森 田 素 代
理 事	滝 口 幸 子
〃	中 野 亜 希 子
〃	米 坂 公 男

総会風景



表 彰 式

令和6年度 橋本市青少年育成会総会が6月28日午後7時から橋本市教育文化会館において開催され市長感謝状及び市民会議会長表彰を受賞されました。青少年健全育成活動及び登下校時の安全安心を見守る活動を長年にわたり子ども達のご指導に対しまして今回受賞されました。

おめでとうございます。

市長感謝状

野田力ズ代様 堀田武夫様 前田泰久様

橋本市青少年市民会議会長奨励賞表彰

生地英明様



本市青少年育成市民会議



令和6年度高野口町青少年健全育成会活動 報告

構成員及びその人数

構成員（各団体・各関係機関・各自治体からの選出と、個人会員の方々で構成している。）

民生児童委員会、更生保護女性会、保護司会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員、ガールスカウト、高野口地区公民館、各園・各小中高、きのかわ支援学校、各小中学校PTA、各自治会、各文化センター、児童館代表、JA女性会、商工会青年部、県育成推進委員、個人会員。

組織と部会員数 活動部会24名、環境部会21名、家庭部会18名、広報部会8名、CP部会(見守り隊) 各地域代表9名。計80名

各地域のCP部会員(見守り隊)数 名倉、向島、住吉名古曾、小田、平山城、伏原3区。 計87名

構成員総数167名

役員会・事務局

○役員会は毎月1回、理事会は本年度中止。

○育成市民会議 会長表彰者の推薦。等

事務所

649-7206橋本市高野口町向島54番地の1（高野口町青少年健全育成会） TEL／FAX 0736-42-3001



(1) 活動部会の方針

「多様な生活体験と健やかな成長」をテーマに、豊かな心や、また、健全な想像力や連帯感を育てる。

- ① 子ども達が多様な経験や体験ができるような活動を進する。
- ② 「ちびっこ広場事業」等を開催し、子ども達が主体的に活動できる場を提供する。
- ③ 子ども達が健やかに育つための標語募集を行い、地域全体の子育てに関する意識を高める。

(2) 事業報告

○「つながり」標語の募集 小学5・6年生の部173名。中学1・2年生の部120名。一般の部21名。入選19点。

表彰式1月19日(高野口地区公民館)。入選作品は高野口地区内に掲示。

○わくわく子ども広場の開催 11月17日(高野口小学校体育館)—参加者名77名、指導者32名。

・紙コップけん玉作り・わなげ遊び・クラフト・いろいろ細工・バルーンアート・紙ヒコーキ・飛ばしの6コーナー設置。

○凧づくりと凧揚げ会 1月9日—高野口小2年生38名。1月15日—高野口こども園年長組23名。1月24日—応其小3年生53名。1月31日—きのかわ支援学校5年生12名対象。

（3）部会議報告

第1回 活動部会の開催について

日 時 令和6年6月7日（金）

場 所 橋本市産業文化会館

（橋本市サカイキャニング産業文化会館）

議 題 1.自己紹介

2.部会長・副部会長・理事の確認

3.令和5年度の活動計画

4.次回の部会の開催日の検討

第2回 活動部会の開催について

日 時 令和6年7月3日（水）

場 所 高野口地区公民館 午後7時から

議 題 1.標語のテーマについて

2.わくわく子ども広場事業について

3.凧づくりとたこ揚げについて

4.その他

第3回 活動部会の開催について

日 時 令和6年9月18日（水）

場 所 高野口地区公民館 午後7時から

議 題 1.標語の応募の審査について

2.わくわく子ども広場事業について

日 時 令和6年11月17日（日）

場 所 高野口小学校体育館

3.凧づくりとたこ揚げについて

4.その他

- 第4回 活動部会の開催について
日 時 令和6年10月17日（木）
場 所 高野口地区公民館 午後7時から
議 題 1. 標語の応募の審査報告について
2. わくわく子ども広場事業について
　　日 時 令和6年11月17日（木）
　　場 所 高野口小学校体育館
3. 凧づくりとたこ揚げについて
4. その他
- 第5回 活動部会の開催について
日 時 令和7年3月6日（木）
場 所 高野口地区公民館 午後7時から
議 題 1. 令和6年度の活動報告について
2. 活動内容の反省について
3. 令和7年度の事業計画について
4. その他

つながりとは、二つ以上のものが交流することで結びついている状態。人と人との繋がりは、人はコミュニケーションを通じて、友人・夫婦・家族など自分を取り巻く良好な人間関係を築き、支え合うようになるのです。良好な人間関係が築けていれば、相手からの反応も良くなり、安心して自分の意見や考えを伝えられます。

- ① 対象者 小学生5・6年生 中学生1・2年生・一般
- ② 募集期間 小中生は 7月20日(火)～8月25日(日)
一般 7月20日(火)～8月31日(土)
- ③ 募集方法 児童生徒へは、各学校を通して応募用紙を配布します。

一般の方につきましては、高野口地区公民館・産業文化会館・名古曾児童館・名古曾文化センター・松源(高野口店・伏原店)・オーハウ高野口店・伏原文化センター・友愛児童館・伏原ふれあい館・ハッスル高野口店の各店舗に投票箱を設置し、広く町民から標語を募集します。一人でも多くの応募をお待ちしています。

『つながり』 標語入選者表彰式の開催について

「つながり」をテーマとした標語を募集しましたところ第1次審査を通過した管内の小学生及び中学生52点、一般21点の応募がありました。厳正なる審査の結果小学生10点・中学生6点・一般3点が入選されました。

記

日 時 令和7年1月19日（日）午前10時より

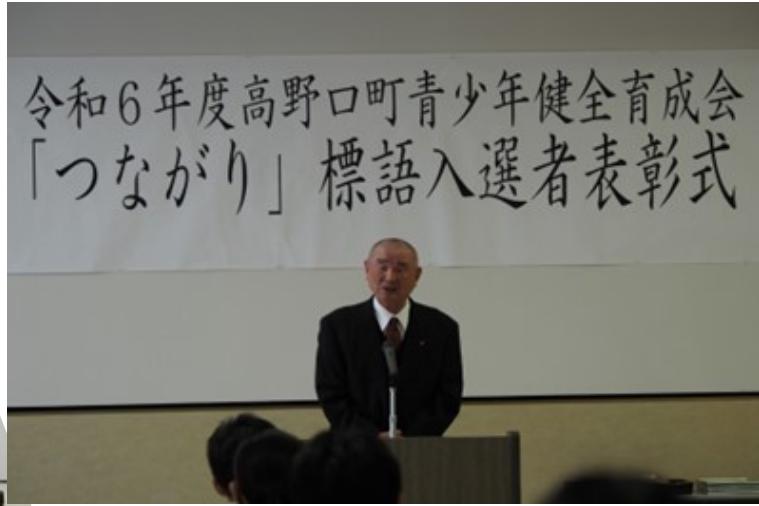
場 所 高野口地区公民館1階研修室



「つながり」 標語入選者一覧表

	所 属	学年	氏 名 (敬称略)	作 品
1	応其小学	5	中川 蒼大 (なかがわ そうた)	あいさつは 心を紡ぐ 第一步
2	応其小学	5	西本 妃華 (にしもと ひな)	ありがとう その一言で つながるよ
3	応其小学	5	村上 績一 (むらかみ りょういち)	つながろう 心と心 あいさつで
4	高野口小学	5	藤本 拓人 (ふじもと たくと)	あいさつは こころとこころ つなぐもの
5	高野口小学	5	山本 彩乃 (やまもと あやの)	優しさで 心と心 つなげよう
6	応其小学	6	森下 笑莉 (もりした えみり)	たすけあい つながる手と手 未来へと
7	応其小学	6	森下 結至 (もりした ゆうし)	声かけは 心をつなぐ バトンリレー
8	応其小学	6	池田 結南 (いけだ ゆうな)	つながりは 人ととの思いやり
9	高野口小学	6	片岡 煙貴 (かたおか こうき)	あいさつで 地域みんなと つながろう
10	高野口小学	6	崎山 莉帆 (さきやま りほ)	あいさつと 笑顔でつながる 地域の輪
11	高野口中学	1	長沼 心陽 (ながぬま こはる)	あいさつは 心をつなぐ あいことば
12	高野口中学	1	日浦 唯衣 (ひうら ゆい)	「ありがとう」 いつでもどこでも つながる心
13	高野口中学	1	保田 遥香 (やすだ はるか)	その行動 どこかにきっと つながっている
14	高野口中学	2	谷川 紗綾 (たにがわ さあや)	あいさつは だれでもできる 意思そつう
15	高野口中学	2	佐藤 亜稀斗 (さとう あきと)	つながりは 言葉でひとつの 輪を作る
16	高野口中学	2	神原 梨人 (かんばら りと)	あいさつは 人とつながる あいことば
17	一 般		福本 順子 (ふくもと じゅんこ)	人と人のつながりが 笑顔に満ちた町となる
18	一 般		木次 崇 (きつぎ たかし)	「おはよう」の挨拶がつなぐ 友達の輪
19	一 般		石井 勇祐 (いしい ゆうすけ)	おはようの 挨拶ひとつで 言葉の和

令和6年度高野口町青少年健全育成会 「つながり」標語入選者表彰式



標語入選者表彰式

令和6年度高野口町青少年健全育成会
「つながり」標語入選者表彰式



令和6年度高野口町青少年健全
「つながり」標語入選者

令和6年度高野口町青少年健全育成会
「つながり」標語入選者表彰式



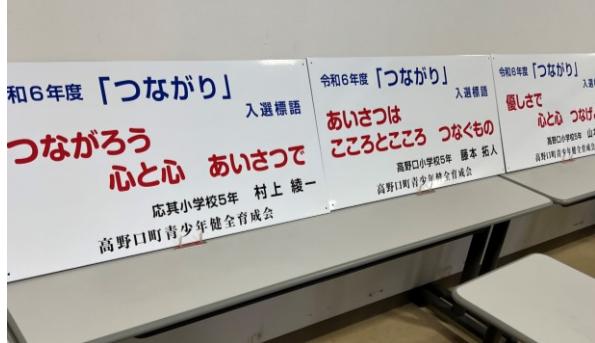
令和6年度高野口町青少年健全
「つながり」標語入選者



令和6年度高野口町青少年健全育成会
「つながり」標語入選者表彰式



日場 時所 令和7年1月19日（日）
高野口地区公民館



たこ作り・凧揚げ講習会の開催

学 校 名	実 施 日・時 間	対象児童
高野口小学校	1月 9日（木）13：45～15：05	2年生
高野口こども園	1月 15日（水）13：00～14：30	年長組
応其小学校	1月 24日（金）13：45～15：05	3年生
きのかわ支援学校	1月 31日（金）13：10～14：10	5年生

私たちは児童でも作りやすく、よく揚がる凧を毎年管内の小学校の低学年及び、きのかわ支援学校の児童と一緒にたこ作り・凧上げ講習会を開催して楽しんでいます。近年の傾向として手づくりのおもちゃを作ったり、それを使ったりと言う事がだんだんと少なくなり、糸やロープを結ぶ事も生活の中でもなくなりつつあり、凧づくり講習会では、切る貼る作業は、スムーズですが糸の結びについては、四苦八苦しているのが現状です。

凧づくり凧揚げを通じ、地域やこども達の育成に少しでもお手伝い出来たらと願っております。



たこ作り・凧揚げ講習会の開催



高野 口こども園のみなさん





応其小学校3年A組



応其小学校3年B組





環境部会

(1) 環境部会の方針

「健全な環境コミュニケーションづくり」を柱に、奉仕の心や公共の美化意識の育成、また危険箇所の対応にも配慮する。

- ① ボランティア活動や環境美化の意識向上につながる機会を提供する。
- ② 町内の事業者の協力のもと、少年を守る連携活動を推進する。
- ③ 子ども達にとっての危険箇所の把握とその対応に配慮する。

(2) 事業報告

○田原川周辺の美化活動 7月7日—小中学生28名。

保護者・教員・関係者66名。

○夏の子どもを守る啓発活動 7月27日—スーパー・量販店6店舗で実施。
(育成会8名、警察1名、センター1名)

○各校との花植え交流会・・11月5日⇒香久の実保育園。11月6日—伊都中央高校。11月11日—高野口小。11月13日—高野口中。11月18日⇒応其小。11月26日⇒きのかわ支援。(紀北農芸高校でパンジー・ビオラ等1,000株購入。高野口小に伊都中央高よりボランティア7名参加。)

○JR高野口駅の美化活動 12月7日⇒小中高生85名。
保護者・教員49名、育成会14名、JR職員2名

○校区内クリーン作戦 1月29日⇒高野口中2年生55名と育成会4名。2月27日⇒応其小6年生44名と育成会4名。2月27日⇒高野口小学校全児童235名と育成会4名。

（3）部会会議報告

第1回環境部会の開催について

日 時 令和6年6月7日（金）

場 所 橋本市産業文化会館

（橋本市サカイキヤニング産業文化会館）

議 題 1.自己紹介

2.部会長・副部会長・理事の確認

3.令和6年度の活動計画

4.次回の部会の開催日の検討

第2回 環境部会の開催について（理事会）

日 時 令和6年10月18日（金）

場 所 高野口小学校

議 題 1.花植え交流会について

2.その他

第3回 環境部会の開催について

日 時 令和7年2月19日（水）

場 所 高野口地区公民館

議 題 1.令和6年度活動報告について

2.令和6年度会計報告について

3.通学路クリーン作戦について

4.令和7年度に向けて

5.その他

田原川周辺美化活動に参加しませんか

高野口町青少年健全育成会環境部・田原川河川愛護会

初夏の候、みなさま方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年度も田原川周辺清掃奉仕活動を下記の日程で開催したいと考えています。何かと忙しい時期ですが、ご参加よろしくお願ひします。地域の皆様方でSDGsに取り組み、「パートナーシップで」「住み続けられるまちづくりを」目指しませんか。

参加をご希望される方は、下記のQRコードを読み込みお申し込みください。

申込締切日 6月26日（水）

日 時 6月30日（日）7時～8時30分（小雨決行）

荒天の場合 7月7日（日）に延期



当日の態度決定 6時

延期の場合のみ高野口小学校ホームページでお知らせします

集合場所 きのこ公園（尾崎集会所前）

持ち物等 マスク・軍手・タオル・お茶（ゴミ袋はこちらで準備します）



R 6 田原川周辺美化活動申し込みフォーム



高野口町青少年健全育成会 環境部の皆様へ

いつも環境部へのご協力ありがとうございます。

6月30日（日）ご参加いただける方は、当日のお手伝いよろしくお願ひします。

部会長 山本 健



田原川清掃活動





夏の子供を守る運動

～明るく　正しく　たくましく～

青少年が夢と希望を持ち続け、心身ともに健やかに、たくましく成長していくことは、私たちみんなの願いです。しかしながら、少子高齢化、核家族化、情報化、国際化等が進み、家庭、学校、職場、地域等の社会環境は大きく変化し、青少年の行動にも大きく影響を及ぼしています。和歌山県においては、夏の子どもを守る運動を7月1日～8月31日の間行っています。高野口町青少年健全育成会も7月27日（土）に地域の子供は地域で守り育てるための環境パトロールを高野口町内の各店舗にてチラシ及びティッシュ配布し啓発活動を行います。

夏休みは、子どもたちにとって、開放的な気持ちになる時期です。子どもたちが、誘惑や危険に巻き込まれることのないよう、地域やご家庭での見守りをよろしくお願ひいたします。

啓発活動にご協力頂ける方は、集合場所に午前10時に集合お願いします。

日　　時　　令和6年7月27日（土）

　　　　　午前10時～11時30分

集合場所　　青少年健全育成会事務所

　　　　　午前10時に集合お願いします。

管内の「よってって」「松源高野口店・伏原店」「エバーグリーン店」「ハッスル店」「オークワ高野口店」の店頭にて啓発チラシ（ティッシュ）を配布し啓発活動をおこないました。



令和6年度 花植え交流会開催の案内

町内の子ども園・きのかわ支援学校・小中学校の児童生徒・伊都中央高等学校と花植え交流会を行います。パンジーとビオラを児童生徒と一緒に植え、交流を深めると同時に、学校の美化に努めます。

「花植え交流会は、橋本市人権啓発推進委員会（高野口地区・信太地区・応其地区）共育コミュニティーの共催事業として実施しています。

植えた花は、学校だけでなく、以下の場所等にも置きます。

『高野口駅・高野口地区公民館・産業文化会館・友愛児童館・伏原文化センター・名古曾児童館・名古曾文化センター』

みなさんで、大事に育てましょう！

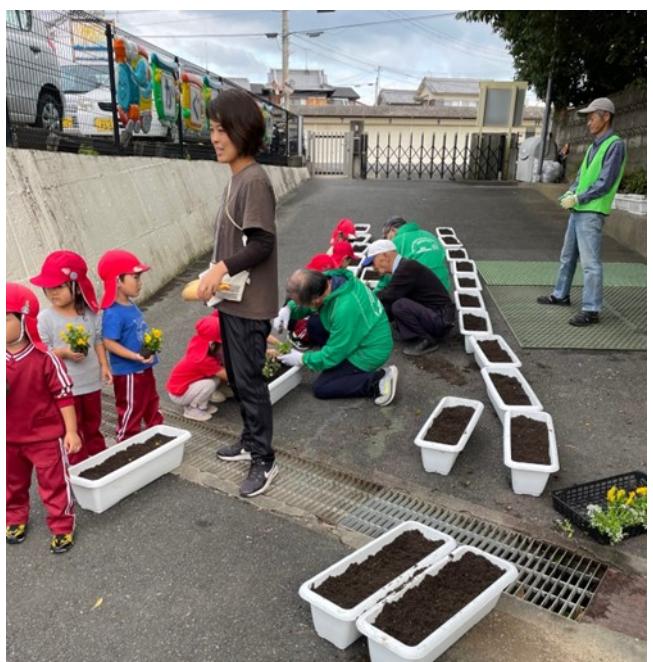
場所	日時	時間
香久の実保育園	11月5日(火)	10:00～
伊都中央高等学校	11月6日(水)	14:50～
高野口小学校	11月11日(月)	14:50～
高野口中学校	11月13日(水)	15:10～
応其小学校	11月18日(月)	14:50～
きのかわ支援学校	11月26日(火)	13:25～



香久の実保育園
11月5日（火）
10時～

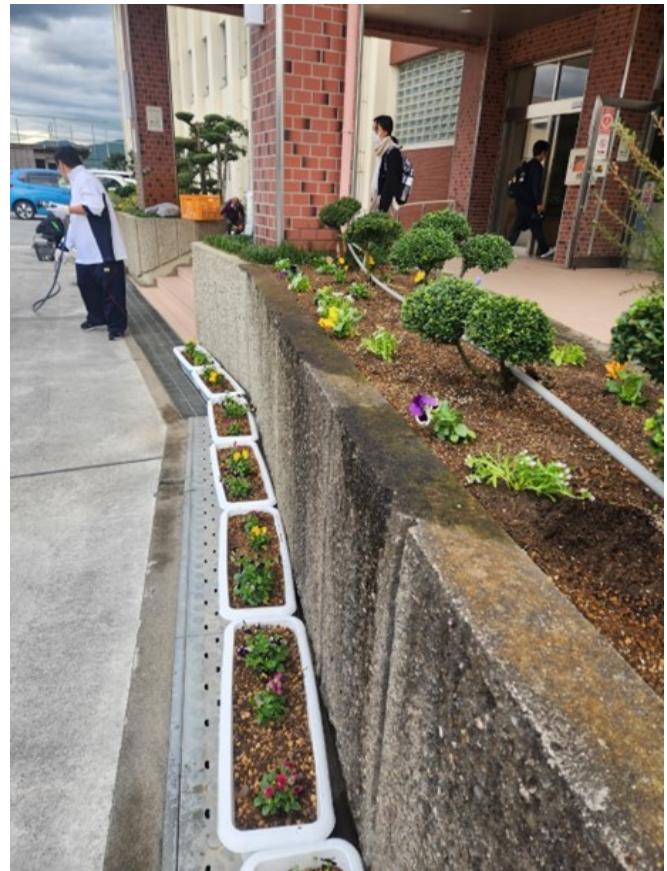


花植え交流会





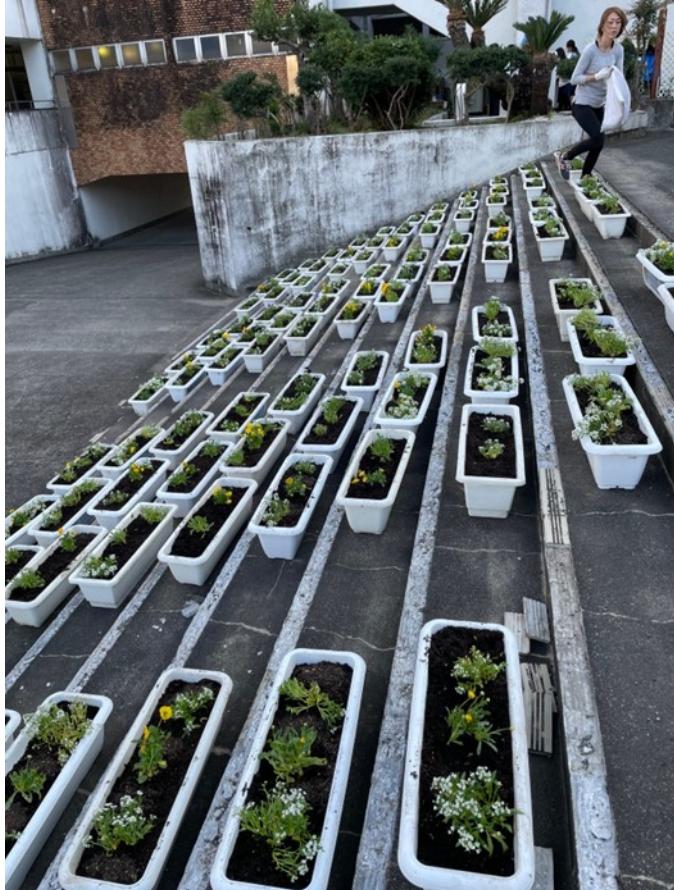
伊都中央高等学校 11月 6日(水) 14:50~







高野口中学校 | 11月13日（水） | 15:10～





JR高野口駅の美化活動参加者募集

主催 高野口町青少年健全育成会 環境部会

高野口駅をみんなできれいにし、SDGsに貢献しよう！



11 住み続けられる
まちづくりを



日 時 令和6年12月7日（土）午前9時～10時30分

集合場所 JR高野口駅前 午前9時集合 ※小雨決行

準 備 物 作業に適した服装

（その他、作業に必要なものは主催事務局で用意します。）

活動内容・目的 駅舎床面の清掃・駅構内および周辺のごみひろい
地域の美化意識やマナー意識の向上、地元の方々とのコミュニケーション、社会貢献への意識を高めるため、町内の小中学校の児童生徒と美化活動に取り組んでいます。駅は通学・通勤などみんながいつも利用する場所。日頃の感謝の気持ちを込めて綺麗にしましょう。

ご賛同の方は12月7日（土）午前9時に高野口駅にご集合頂き、共にボランティア活動に参加しませんか。



高野口駅美化活動





令和6年度 通学路クリーン作戦の実施

学校及び通学路の清掃活動を通して美化意識やマナー意識の向上、社会奉仕活動の一環として、地域に貢献するという目的で、通学路にありがとうの感謝の気持ちを込めて、毎日利用した校区内の通学路をコースに分かれて実施しました。中学生については、2年生を中心となり中学校下信号機から側道信号機の間の清掃活動をおこないます。

高野口中学校

日 時 令和7年1月29日(水)午後1時45分～

生徒2年生55名 育成会 学校の先生 市役所(都市整備課)

応其小学校

日 時 令和7年2月27日(木)午後2時00分～

集合場所 応其小学校運動場

6年生44名が4班に分かれて校区内の清掃活動

育成会・保護者・先生

高野口小学校

日 時 令和7年2月27日(木)午後1時20分～

1年から5年生は校内清掃 6年生田原方面コース



今回の通学路クリーン作戦は、児童生徒・教職員・保護者・環境部会員等が協力し、清掃活動を行います。

①通学路クリーン作戦への参加とお願いについて

ご賛同の方は上記の開催日時に学校にご参加頂き共にボランティア活動しませんか。（ご都合の良い日にご参加ください。）

雨天の場合（ややこしい時）各学校にお問い合わせください。

②伊都中央高等学校、きのかわ支援学校の取組について
伊都中央高等学校、きのかわ支援学校もそれぞれ定期的に校区内の清掃活動を行っており、高野口町内の全ての学校で校区内の清掃活動が行われています。今後の環境部会の活動を考える上で大切にしたい情報として皆様にお知らせさせていただきます。

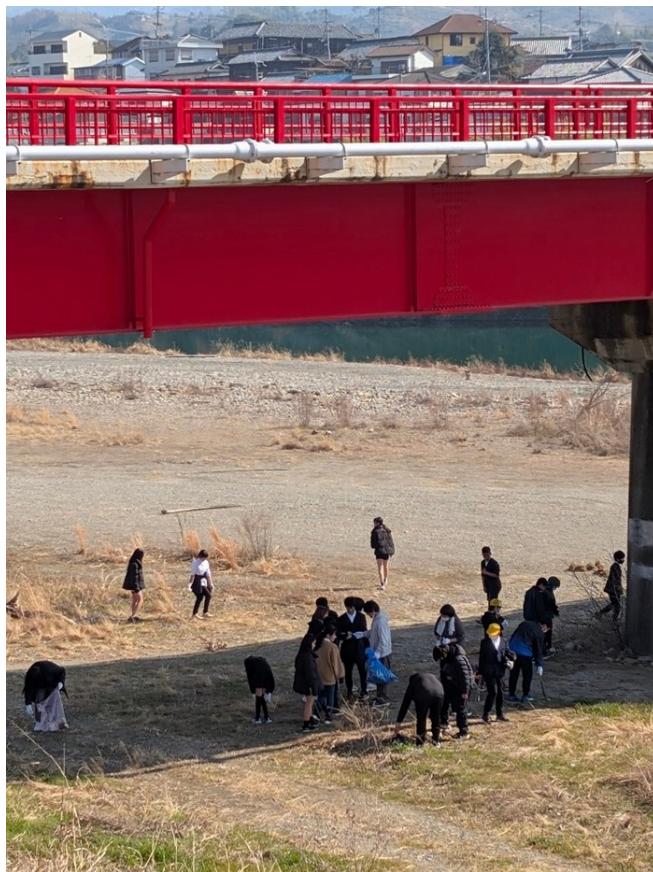
日 時 令和7年1月29日
(水)午後1時45分～



高野口小学校

日 時 令和7年2月27日（木）午後1時20分～

1年から5年生は校内清掃 6年生田原川と紀の川方面コース



応其小学校

日 時 令和7年2月27日（木）午後2時00分～

6年生44名が4班に分かれて校区内の清掃活動





(1) 家庭部会の方針

家庭や地域の育成力を高める取り組みを行う。

- ① 家庭や地域の育成力を高めるための講演会を開催する。
- ② 各関係団体と協力しながら、「声かけあいさつ運動」を実施し、大人と子どもの人間関係や信頼関係を深める。

(2) 事業報告

○朝の声かけ挨拶運動の実施 9回 9月～10月—毎水曜日 7時40分～9時10分。各3園と各小中高、きのかわ支援学校の5校で実施。

実施協力者：更生保護女性会、民生児童委員会、各校関係者、育成会。計106名で実施。

○高野口町教育講演会の開催 11月9日—高野口中学校体育館。参加者計77名。

(内容) 地震災害から身を守るための防災・減災教育。〔講師〕神戸の絆2005代表理事

(3) 部会会議報告

- 第1回 環境部会の開催について**
日 時 令和6年6月7日（金）
場 所 橋本市産業文化会館
(橋本市サカイキャニング産業文化会館)
議 題
1. 自己紹介
2. 部会長・副部会長・理事の確認
3. 令和6年度の活動計画
4. 次回の部会の開催日の検討
- 第2回 環境部会の開催について（理事会）**
日 時 令和6年10月18日（金）
場 所 高野口小学校
議題 花植え交流会について
その他
- 第3回 環境部会の開催について**
日 時 令和7年2月19日（水）
場 所 高野口地区公民館
議 題
1. 令和6年度活動報告について
2. 令和6年度 会計報告について
3. 通学路クリーン作戦について
4. 令和7年度に向けて
5. その他

令和6年度 高野口地域小学校新入生下校引率のお願い

橋本市立高野口小学校

橋本市立応其小学校

高野口地域共育コミュニティ

桜が咲き、学校では新入生を迎える季節となりました。日頃は学校支援にご協力いただき誠にありがとうございます。

まもなくビカビカの1年生が登校してまいりますが、初めての学校登校で児童はもとより保護者も不安がいっぱいです。

つきましては、入学後1週間下校時に新入生を学校の先生と一緒におうちの近くまで送っていきたいと思います。

何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

高野口小学校 4月10日(水) ~ 4月15日(月) 11:30~12:30 (集合 高野口小学校グラウンド)

応其小学校 4月10日(水) ~ 4月12日(金) 11:30~12:30 (集合 応其小学校グラウンド)

(高野口小学校)

4/10(水)	清瀧サチ子	井澤 清	神原 秀代	花岡 敦美	植田さん	角谷 泰子
4/11(木)	北浦 健司	井澤 清	神原 秀代	花岡 敦美	植田さん	
4/12(金)	北浦 健司	井澤 清		花岡 敦美	植田さん	角谷 泰子
4/15(月)	北浦 健司	井澤 清	神原 秀代		植田さん	

(応其小学校)

4/10(水)	前田 泰久	野田 幹也	竹尾 佳子	大和久 恵子	山本 健	寺嶋 由香	村上さん(松源方面)
4/11(木)	前田 泰久	野田 幹也	竹尾 佳子	田中 小夜子	山本 健	寺嶋 由香	村上さん(松源方面)
4/12(金)	前田 泰久	野田 幹也	松本 弘美	田中 小夜子	山本 健	寺嶋 由香	橋本さん

新入生下校引率風景



令和6年度「朝の声かけ・あいさつ運動」実施計画表

主催:高野口町青少年健全育成会家庭部会
協賛:高野口共育コミュニティ推進協議会

1 期 間 令和6年 9月～10月

2 時 間 ○こども園・香久の実保育園(午前8時15～8時50分)

○小中学校(午前7時40分～8時20分)

○伊都中央高等学校(午前8時～8時30分)

○きのかわ支援学校(午前8時30分～9時00分)

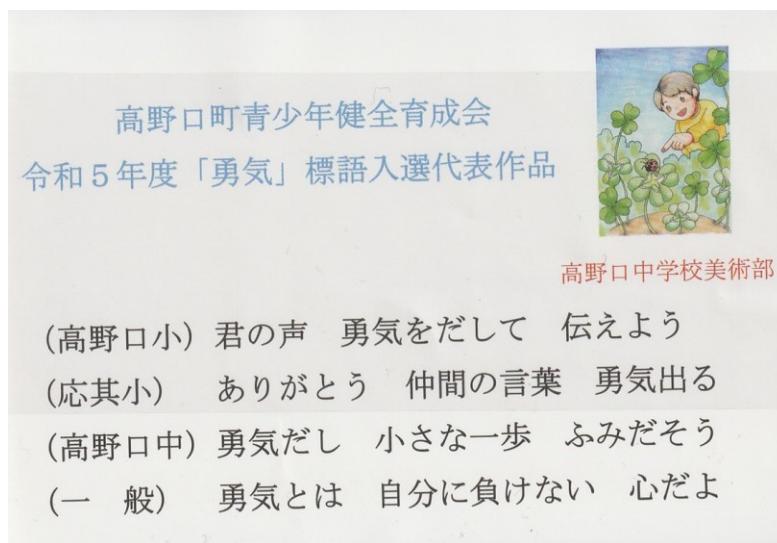
3 実施場所 高野口町内各園学校(3園・5校)の正門及び通用門

4 協力団体と協力者 民生児童委員会41、更生保護女性会14、各園・学校より35、青少年健全育成会15(計106)

5 実施日

月	日	曜日	実施校
9月	2日	月曜日	高野口地域全ての園・学校一斉あいさつ運動実施。
	11日	水曜日	高野口こども園、応其こども園、香久の実保育園。
	18日	水曜日	高野口小、応其小。
	25日	水曜日	高野口中(2カ所)。
10月	2日	水曜日	伊都中央高校、きのかわ支援学校。
	9日	水曜日	高野口こども園、応其こども園、香久の実保育園。
	16日	水曜日	高野口小、応其小。
	23日	水曜日	高野口中(2カ所)。
	30日	水曜日	伊都中央高校、きのかわ支援学校。

9月2日(月)ティッシュ配布し
朝の声かけ・あいさつ運動の啓発をスタートします



9月2日(月)ティッシュ配布し
朝の声かけ・あいさつ運動の啓発をスタートします





高野口町青少年健全育成会・高野口地域共育コミュニティ本部・高野口管内園学校
および各園学校 P T A 主催

令和6年度高野口町教育講演会

今年度のスローガン「助けられる人から、助ける人に」

期　　日　　令和6年11月9日（土）13:30～16:00（受付開始13:00～）
会　　場　　高野口中学校　体育館
日　　程

13:00	13:30	13:45	14:45	15:45	16:00
受付	開会行事	講演	ワークショップ	閉会行事	

講 演 阪神・淡路大震災語り部

『阪神淡路大震災の体験から学んだ命の大切さ、
地域での助け合いの精神、そこから得た教訓について』
『託児』引き受けます。

参加対象者 高野口管内園・学校の教職員・園児児童生徒・PTA及び一般住民
問合せ先 高野口町青少年健全育成会（高野口町向島54-1） Tel 42-3001
橋本市教育委員会生涯学習課地域教育係 Tel 33-6112

きりとり其を

令和6年度教育講演会参加希望書（10/18（金）までに担任の先生にお渡しください）

{ 圈：學校 幼兒：兒童：生徒 每多 }

保謢者・教職員・一般 氏名

教育講演会に (参加 不参加) いずれかを○で囲んで下さい。



会 場 高野口中学校 体育館

内 容

(1) 防災講演

講師 NPO神戸の絆2005代表理事 大濱 義弘 氏
演題 阪神・淡路大震災の教訓から学ぶ
—自分の命は自分で守るために—

(2) ワークショップ

避難所必需品製作

(①簡易ベッド②パーテーション③スリッパ)

去る11月9日高野口中学校の体育館で開催しました「令和6年度高野口町教育講演会」におきまして、園・学校の保護者・教職員、高野口町健全育成会を始めとした各種教育団体及び地域住民の大人55名に加えて、今年度は児童・生徒の子ども22名の参加もあり、実りの多い研修会となりましたことに感謝申し上げます。

今年は元日の能登半島地震に始まり、8月の日向灘の地震に伴う南海トラフ地震臨時情報の発表、その他地震・台風・水害などの災害が起こっています。そこで、今年度の講演会のテーマを「防災」として、I部は阪神・淡路大震災の語り部の講演と、II部のワークショップの二部制で実施いたしました。これを機に地域・学校・保護者が連携しながら防災・減災に取り組んでいってもらいたいと思います。講演はNPO神戸の絆2005代表理事の大濱義弘さんに、「阪神・淡路大震災の教訓から学ぶ—自分の命は自分で守るために—」と題して、命の大切さ、地域での助け合いの精神、そこから得た教訓について、元小学校の校長先生らしいわかりやすいお話しをしていただきました。

【講演内容】

まず初めに映像を使って阪神・淡路大震災の悲惨な被災状況を詳しく説明していただきました。未曾有の大災害になりましたが、7割の人は圧死で次に多かったのは焼死だったようで、生きながら焼かれる恐怖を味わったと話されました。特に、2階が崩落して1階で身動きできなくなつた母親を残して消防団の活動のために逃げた話を聞いたときは涙が出てきました。大濱先生は幸いにもご自分の家族や学校には被害はなかつたようですが、避難所になつた小学校で校長としてたくさん押しかけた避難者の人たちの支援に奔走されたという話をされました。特に困つたのはトイレだったそうで、ライフラインの断絶で水が流れなくなりどうしようもなくなつたとのことです。女生徒がバリケートをつくつて用を足し、男子生徒が便をバケツに入れてグランドに運んだことなど生々しいお話も聞かせてもらいました。熊本では生徒がプールの水で流す手伝いをしたり、仙台でも子供たちがトイレ掃除をするなど児童・生徒がボランティアとして活躍したそうです。東日本大震災の中学生が近くの小学校の児童を先導し高台に避難をして、600人全員の命を救つた「釜石の奇跡」の話を聞き感動しました。やはり「自分の命は自分で守る」ことを肝に銘じておくべきでしょう。そのうえで、結局多くの人を助けたのは近所の人でした。普段から近所の人と親しく接しておくことが自分の命を守ることになる。難しいことではなく、朝、道で出会つたら「おはようございます」と声をかけるだけでいいと教えてもらいました。

講演終了後、質疑応答で児童・生徒から講師先生に対して「子どもでもできることがありますか?」「自分が家にいるときはどうすればいいですか?」「いつも持つておくといいものは何ですか?」「ペットをどうすればいいですか?」など積極的なたくさんの質問が出され、その都度丁寧にお答えいただきました。参加者は子どもたちの態度に感心させられました。「震災を語ることは未来を語ること」と話された講師先生のお言葉に、このような子ども達に未来を託したいという思いを実感いたしました。

«感想文»

- ・実際、阪神・淡路大震災を体験された先生のお話を聞かせていただき、南海トラフが来た時にどうすればよいか具体的なイメージを持つことができました。
- ・心に響く阪神・淡路大震災の教訓をありがとうございました。特に子供たちの講師先生への質問を聞けて、胸をうたれ未来を感じました。
- ・ワークショップもあり、また震災を経験された方のお話を聞くことができ参加できてよかったです。
- ・防災について、日頃の地域のつながりや自分の命を守るために自分で考え判断することの大切さを学びました。
- ・今日の講演を聞いて、より地震に対する危機感を持つようになり、備えをしていこうと思いました。
- ・あいさつが自分の命を守るという言葉が印象に残りました。また、地域の人の助け合いの必要性を実感しました。
- ・障碍者の方が避難所で苦労したことや、日頃から気をつけておくことを聞きたかったです。





（1）広報部会の方針

青少年の健全育成に関わる各種広報活動を行う。

- ① 青少年健全育成のための広報紙等を各自治会にお願いし配付する。また、育成に関する記事を公民館だよりも掲載していく。
- ② 青少年育成に関する各事業への参画を呼びかける。
- ③ 広く啓発活動を展開するため、ホームページの充実と関係団体や 関係機関との連携を図っていく。

(2) 部会議報告

第1回 広報部会の開催について

日 時 令和6年6月7日

場 所 橋本市産業文化会館

(橋本市サカイキャニング産業文化会館)

議 題 1. 自己紹介

2. 部会長・副部会長・理事の選出

3. 令和6年度の活動計画

4. 次回の部会の開催日の検討

第2回 広報部会の開催について

日 時 令和6年7月15日（月）午後7時から

場 所 高野口町青少年健全育成会事務所

議 題 1. 9月号発行（ゆうき）の件について

2. その他

広報9月号の配布仕分け作業

日 時 令和6年8月13日（火）午後1時から

場 所 青少年健全育成会事務所

第3回 広報部会の開催について

日 時 令和7年1月27日（月）午前9時30分から

場 所 青少年健全育成会事務所

議 題 1. 3月号発行（ゆうき）の件について

2. その他

広報3月号の配布仕分け作業

日 時 令和7年2月10日（月）午前10時から

場 所 青少年健全育成会事務所

ゆうき

事務局

〒649-7206 橋本市高野口町向島 54-1

TEL/FAX 0736-42-3001

業務日時：木曜日 14時～16時

■発行：令和6年9月

■編集発行：広報部会

令和6年度 高野口町青少年健全育成会 総会 開催



赤井会長

6月7日(金)、橋本市産業文化会館2階会議室で、令和6年度高野口町青少年健全育成会総会を開催しました。赤井正憲会長の挨拶の後、来賓の今田実橋本市教育長・辻本勉伊都地方青少年育成県民運動推進委員会会長・かつらぎ警察署森田清幹署長より祝辞をいただきました。



野手議長

野手好雄氏を議長に選出し、令和5年度事業報告・決算報告・会計監査報告、令和6年度事業計画・予算案が承認されました。

続いて、令和6年度の部会名簿を確認して、総会を無事終了しました。

総会終了後、第1回部会が、開催され、部会長・副部会長・理事が選出され、今年度の活動計画について協議しました。

来賓の方々



今田教育長



辻本会長



森田署長



総会の様子

総会資料は、ホームページに掲載しています。是非ご覧下さい。
QRコードはこちら



橋本市青少年育成市民会議会長表彰

6月28日、令和6年度橋本市青少年育成市民会議総会が橋本市教育文化会館において開催され、市長感謝状及び市民会議会長表彰が授与されました。

高野口町青少年健全育成会会員として、今回4名の方が表彰を受けられました。登下校時の見守り活動・啓発活動・あいさつ運動等の運営に大きく貢献されました。その功績に対しまして今回受賞されました。

おめでとうございます。



○市長感謝状・橋本市青少年育成市民会議功労受賞者

野田 力ズ代 様 堀田 武夫 様 前田 泰久 様

○橋本市青少年育成市民会議奨励受賞者

生地 英明 様





7月7日（日）児童・生徒 28人、大人 66人、合計 94人の参加を得て、ホタルのすむきれいな田原川を保っていきたいと思います。SDGsの取組みもできました。



わくわくこども広場

11月17日（日）

午後1時～

高野口小学校 体育館

（バルーンアート・紙飛行機など作ります）

お知らせ

個人会員 募集中

事務所 (TEL42-3001)
または会員に連絡して下さい

第74回社会を明るくする運動

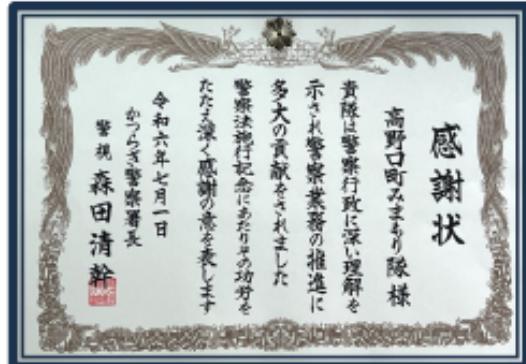
犯罪や非行をした人が、再び過ちを犯さないためには、その人自身が自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直りのために努力することが必要です。しかし、それだけではなく、立ち直ろうと努力する人を受け入れ、見守ることもまた、犯罪や非行のない明るい地域社会につながると考えています。当日橋本市福祉センターにて出発式を行い、高野口町内の店舗にて更生保護女性会・保護司の皆さんと啓発活動をおこないました。

【啓発活動で配布したウェットティッシュ】

日 時 令和6年7月1日午前9時～

場 所 松源高野口店・伏原店、ハッスル高野口店、オークワ高野口店





感謝状をいただきました

7月1日の警察法施行記念日に伴い、高野口町青少年健全育成会が日頃行なっている登下校時の見守り活動に対して、かつらぎ警察署長より感謝状が贈呈されました。



応其小学校・高野口小学校 新入生下校引率



桜が咲き、小学校ではピカピカの1年生を迎えるました。初めての学校登校で児童はもとより保護者も不安がいっぱい。入学後1週間下校時に新入生を学校の先生と一緒におうちの近くまで送っていきました。延べ41名の方にご協力いただきました。



朝の声かけ・あいさつ運動



家庭や地域の育成力を高める取り組みの一つとして、「声かけ・あいさつ運動」を実施し、大人と子どもの人間関係や信頼関係を深めることを目的に今年度も9月から10月にかけて「朝の声かけ・あいさつ運動」を行います。普段から高野口各地では校門前や交差点などで、始業前や下校時に子どもの見守り活動を行っています。加えてこの期間早朝に育成会と共育コミュニティが民生児童委員会、更生保護女性会、各校PTAの方々に協力いただき、登園・登校時にこの運動を実施いたします。よろしければご参加ください。

月	日	曜	実施場所
9	2	月	高野口地域全ての園・学校
	11	水	高野口こども園・応其こども園・香久の実保育園
	18	水	高野口小学校・応其小学校
	25	水	高野口中学校 (2カ所: 正門・田原道信号)
10	2	水	伊都中央高校・きのかわ支援学校
	9	水	高野口こども園・応其こども園・香久の実保育園
	16	水	高野口小学校・応其小学校
	23	水	高野口中学校 (2カ所: 正門・田原道信号)
	30	水	伊都中央高校・きのかわ支援学校

こども園・香久の実保育園 午前8時15分～8時50分
小学校・中学校 午前7時40分～8時20分
伊都中央高校 午前8時00分～8時30分
きのかわ支援学校 午前8時30分～9時00分



高野口町青少年健全育成会・高野口地域共育コミュニティ本部・高野口管内園学校
および各園学校 P.T.A.主催

令和6年度高野口町教育講演会

今年度のスローガン「助けられる人から、助ける人に」

期日 令和6年11月9日(土) 13:30~16:00(受付開始13:00~)

会 場 高野口中学校 体育館

目 程

13:00	13:30	13:45	14:45	15:45	16:00
受付	開会行事	講演	ワークショップ	閉会行事	

講演 阪神・淡路大震災語り部

『阪神淡路大震災の体験から学んだ命の大切さ、

地域での助け合いの精神、そこから得た教訓について』

『託児』引き受けます。

参加対象者 高野口管内園・学校の教職員・園児児童生徒・P.T.A.及び一般住民

問合せ先 高野口町青少年健全育成会（高野口町向島54-1） Tel 42-3001
橋本市教育委員会生涯学習課地域教育係 Tel 33-6112

光りりりりせん

令和6年度教育講演会参加希望書（10/18（金）までに担任の先生にお渡しください）

() 圈・学校 幼兒・兒童・生徒 氏名

保護者・教職員・一般 氏名

教育講演会に (参加 不参加) いずれかを○で囲んで下さい。

ゆうき

事務局

〒649-7206 橋本市高野口町向島54-1

TEL/FAX 0736-42-3001

業務日時：木曜日 14時～16時

■発行：令和7年3月

■編集発行：広報部会

令和6年度 高野口町教育講演会 開催

◇第1部 防災講演 「阪神・淡路大震災の教訓から学ぶ」

～～自分の命は自分で守るため～～

講師 NPO神戸の絆2005代表理事 大濱義弘 氏

◇第2部 避難所必需品製作(簡易ベッド・スリッパ)

橋本市防災士協会

令和6年度高野口町教育講演会を11月9日(土)、高野口中学校体育館にて開催しました。町内の園・学校の保護者・教職員、高野口町健全育成会を始め各種教育団体及び地域の方々55名に加えて、今年度は児童・生徒22名の参加もあり、実り多い研修会となりました。



昨年は元日の能登半島地震に始まり、8月の日向灘の地震に伴う南海トラフ地震臨時情報の発表、その他地震・台風・水害などの災害が起こりました。そこで、今年度の講演会のテーマを「防災」とし、講演とワークショップの二部制で実施いたしました。これを機に地域・学校・保護者が連携しながら防災・減災に取り組んでいってもらいたいと思います。

～～ 措置が自分の命を守る ～～

《講演内容(要約・抜粋)》

- ・阪神・淡路大震災の悲惨な被災状況、7割の人は圧死で、次に多かったのは焼死
- ・避難所になった小学校の校長として、多くの避難者の支援に奔走。特に困ったのはトイレ
- ・震災を語ることは未来を語ること
- ・東日本大震災で、中学生が小学生を高台に先導し、600人全員の命を救った「釜石の奇跡」
- ・多くの人を助けたのは近所の人で、普段から近所の人と親しく接しておくことが自分の命を守る



紙スリッパ



段ボールベッド作り



質問する生徒

感想文より

- ・実際、阪神・淡路大震災を体験された先生のお話を聞かせていただき、南海トラフ地震が起こった時にどうすればよいか具体的なイメージを持つことができました。
- ・日頃の地域のつながりや自分の命を守るために自分で考え判断することの大切さを学びました。
- ・子どもたちの講師先生への質問を聞いて、胸をうたれ未来を感じました。



大濱義弘さん

2024年度 主な活動

朝の声かけ・あいさつ運動

9月2日から10月30日までの登園・登校時に、町内の保育園・こども園・小学校・中学校・県立学校で、朝の声かけ・あいさつ運動を行いました。この運動には、青少年健全育成会会員（15名）だけでなく、民生児童委員（41名）・更生保護女性会（14名）・各園各校の保護者・職員（35名）の方々にも協力していただき、9回の延べ人数は220名でした。

ご協力いただいた皆様、ご苦労様でした。



JR高野口駅・美化活動

12月7日、地域の美化やマナーの向上、地元の方々とのコミュニケーション、社会貢献への意識を高めるため、駅構内の美化活動を行いました。町内の小学生28名、中学生45名、伊都中央高校生12名、教職員30名、地域の方々19名、青少年健全育成会会員14名、JR社員2名 計150名が参加してくれました。駅は通学・通勤など、みんながいつも利用する場所です。日頃の感謝の気持ちを込めて綺麗にしました。



応其小学校



高野口中学校



高野口小学校

植えたお花は、学校だけでなく、以下の場所にも置きました。

- ・高野口地区公民館
- ・名古曾児童館
- ・高野口駅・産業文化会館・友愛児童館
- ・名古曾文化センター



花植交流会



伊都中央高校



香久の実保育園



♪たこたこよがれ 天までよがれ♪

高野口こども園



高野口こども園(1月11日)・高野口小学校(1月9日)・応其小学校(1月24日)で、「凧づくり凧揚げ」をしました。自分で作成した「グニャグニャ凧」にマジックで思い思いの絵を描き入れました。その後、運動場に出て揚げました。風に乗って高く舞い上がり、子どもたちの歓声が響き渡りました。高野口小学校では、5年生のお兄ちゃん・お姉ちゃんが2年生の凧揚げを手伝っていました。



応其小学校 3年A組



応其小学校 3年B組

わくわく子ども広場

わくわくこども広場を11月17日、高野口小学校体育館で伊都中央高校生・ガールスカウトの方々の手を借りて開催しました。77名の子ども・保護者が参加してくれました。

【コーナーの紹介】

- 1 輪投げ遊び
- 2 紙コップけん玉作り
- 3 バルーンアート
- 4 クラフト
- 5 いろいろ細工
- 6 紙飛行機作り



高野口町青少年健全育成会ホームページへは下のQRコードからアクセスすることができます。





令和6年度標語入選者表彰式を1月19日（日）高野口地区公民館で行いました。今年度は、「つながり」をテーマに募集したところ、たくさんの方に応募していただきました。慎重に選考した結果、小学生の部10名、中学生の部6名、一般の部3名が優秀作品として入選しました。受賞者の方々には、表彰状と記念品を贈呈しました。なお、入選標語はパネルにて掲示しております。

受賞者の皆様、おめでとうございます。応募していただいた皆様、ありがとうございました。

応其小 5	中川 蒼大	あいさつは 心を紡ぐ 第一步
応其小 5	西本 妃華	ありがとう その一言で つながるよ
応其小 5	村上 綾一	つながろう 心と心 あいさつで
高野口小 5	藤本 拓人	あいさつは こころとこころ つなぐもの
高野口小 5	山本 彩乃	優しさで 心と心 つなげよう
応其小 6	森下 笑莉	たすけあい つながる手と手 未来へと
応其小 6	森下 結至	声かけは 心をつなぐ バトンリレー
応其小 6	池田 結南	つながりは 人ととの思いやり
高野口小 6	片岡 煌貴	あいさつで 地域みんなと つながろう
高野口小 6	崎山 莉帆	あいさつと 笑顔でつながる 地域の輪
高野口中 1	長沼 心陽	あいさつは 心をつなぐ あいことば
高野口中 1	日浦 唯衣	「ありがとう」 いつでもどこでも つながる心
高野口中 1	保田 遥香	その行動 どこかにきっと つながっている
高野口中 2	谷川 紗綾	あいさつは だれでもできる 意思そつう
高野口中 2	佐藤 亞稀斗	つながりは 言葉でひとつの 輪を作る
高野口中 2	神原 梨人	あいさつは 人とつながる あいことば
一般	福本 順子	人と人のつながりが 笑顔に満ちた町となる
一般	木次 崇	「おはよう」の挨拶がつなぐ 友達の輪
一般	石井 勇祐	おはようの 挨拶ひとつで 言葉の和

【敬称略】



(1) CP部会の方針

「子どもを事故や不審者から守る」を目標に、将来を担う子ども達の安全な地域生活を培う取り組みを行う。

- ① 子ども達の登下校時の見守り活動を柱に、地域全体での子ども見守り意識を高めていく。
- ② 見守り活動時には、あいさつ等の声かけを行う。
- ③ 桜祭り、戎祭り開催時における防犯パトロール活動を行う。

(2) 事業報告

見守り隊等々と高小児童との対面式

日時 令和6年11月18日（月）13:50～14:30

場所 高野口小学校

（見守り隊からの出席者 4名）

（旗振り等の活動）

学童の登校時間帯に、安全に横断歩道等を渡れるように、統一の帽子とベストを着用して「旗振り」活動しています。

(3) 部会議報告

第1回 CP部会の開催について
日 時 令和6年6月7日（金）
場 所 橋本市産業文化会館
(橋本市サカイキヤニング産業文化会館)

議 題 1. 自己紹介
2. 部会長・副部会長・理事の選出
3. 令和6年度の活動計画
4. 次回の部会の開催日の検討

第2回 CP部会の開催
日 時 令和6年8月9日（金） 19:00～20:00

場 所 高野口地区公民館
議 題 1. 部会活動について
2. えびす神社のパトロールについて
3. 表彰の受賞者候補について
4. ボランティア保険の申請について

第3回 CP部会の活動について（電話連絡）

日 時 令和7年2月2日（日）
内 容 1. 獎励賞・功労賞の推薦について
2. 桜まつりの参加について（不参加）
3. ボランティア保険の申請について（整理を
検討）



高野口町青少年健全育成会が子ども達の登下校時の見守り活動に対しまして、警察法施行記念に伴いかつらぎ警察署長より感謝状授与を受けました。

日 時 令和6年7月1日

場 所 かつらぎ警察署 3階会議室

感謝状

感謝状

高野口町みまもり隊様

貴隊は警察行政に深い理解を示され警察業務の推進に多大の貢献をされました。警察法施行記念にあたりその功労をたたえ深く感謝の意を表します

令和六年七月一日

かつらぎ警察署長

警視 森田 清幹



愛カードと綺麗なお花を頂きました



あいばさんへ

いつも子どもの安全のために
毎朝立ってくれてほんとう
にありがとうございます!!
たすかりました!! これがう
も元気でいてください
ありがとうございます!!

愛カードと綺麗なお花を頂きました

感謝の気持ちを込めて愛カードとお花を頂きました。
恥ずかしかったですけど嬉しかったです。また明日か
ら微力ではございますが子ども達を見守っていきたい
と思います。

令和6年度高野口町青少年健全育成会活動を振り返り

高野口町青少年健全育成会は、今年多くの活動を通じて地域の青少年の健全育成に取り組みました。以下に主な活動内容をまとめます。

これらの活動を通じて子どもたちは、地域社会への貢献心を身に付け、また、子どもを大切にする地域の大人の思いを感じながら、健全な成長を遂げています。今後も継続してさまざまな活動を展開し、地域の絆を深めていきたいと思います。

高野口町青少年健全育成会は、地域の青少年の健全育成を目指して、令和6年度にも多くの活動を展開しました。しかし、効果的な活動を行うためには、常に振り返りと改善が必要です。以下に、令和6年度の活動を振り返り、反省点をまとめました。

活動の充実度

青少年健全育成会の活動は多岐にわたり、物作り活動、環境美化活動、声かけ挨拶活動、教育講演会などが行われました。しかし、その中には参加者の満足度が低かった活動もありました。例えば、わくわく子ども広場では種目の選定に偏りがあり、すべての参加者が楽しめる内容とは言えない部分もありました。今後は、参加者等の意見をより反映させ、改善すべき所を見直し、それぞれの満足度の向上を図る必要があります。

参加者の多様性

活動の参加者は主に小学生が中心でしたが、今後はより多くの中高生の参加も考えた活動を取り入れていくということが挙げられます。また、大学生や社会人の応援も得、地域の若者と一緒に、この活動を楽しみながら推進していくということも必要です。今後は、広い年齢層の中での事業を企画し、地域全体の交流を促進しながら進めていく必要があります。

コミュニケーションの改善

活動を運営するにあたり、コミュニケーションの課題も見えてきました。情報共有が不十分であったため、参加者が少なかったこと、また、活動がスムーズに進行出来なかった場面もありました。このことにより、活動の幅が低下することもありました。今後は、情報共有の方法を見直し、メールやSNS及び迅速かつ正確な情報交換を行い、また広報紙「ゆうき」の発行（9月・3月）では、簡潔に見やすい紙面にし、育成会活動をお知らせさせてもらいました。

予算関係

活動資金の確保は常に課題となっています。令和6年度も、予算不足により予定していた材料購入を縮小せざるを得ない状況がありました。今後は地域の企業や自治体、個人からの寄付やクラウドファンディング等など、資金確保の方法を多様化する必要があります。

環境への配慮

活動を通じて環境への配慮も欠かせませんでしたが、一部の活動において、ゴミの処理やエコ活動の不十分さが見られました。参加者全員が環境意識を持つよう啓発し、活動の際にはゴミの分別やリサイクルを徹底していくことが求められます。

児童の安全対策

児童の安全を守るための見守り隊は、地域社会において重要な役割を果たしています。しかし、多くの地域で見守り隊のメンバーが高齢化しているという課題に直面しています。この問題に対処し、持続可能な見守り活動を続けるためには、様々な対策が必要です。

住民参加の促進として、住民全体に見守り活動の重要性を啓発し、幅広い世代からの参加を呼びかけなければなりません。

また、現在の役割や負担配分を見直し、各メンバーの体力や健康状態に応じたものに見直しを図らなければなりません。柔軟な参加形態やシフト制、忙しい若年層でも参加しやすい形態も考え、幅を広げていくことが必要です。児童の見守り隊の高齢化対策は、地域社会全体の協力と理解が不可欠です。以上の対策を実行することで、持続可能な見守り活動を実現し、地域の子どもたちの安全を守ることができます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後の展望

以上の反省点を踏まえ、高野口町青少年健全育成会は今後も地域の青少年の健全育成に努めてまいります。次年度は、活動内容の充実、参加者の多様性の確保、コミュニケーションの改善、環境への配慮を重点的に取り組む予定です。これにより、地域の絆をさらに深め、青少年たちの健全な成長をサポートしてまいります。

今後共、青少年健全育成会の皆様のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。心より感謝申し上げ、次年度も皆様と共に充実した活動を展開できることを楽しみにしております。